

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公表番号】特表 2005-531580 (P2005-531580A)

【公表日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-041

【出願番号】特願 2004-507449 (P2004-507449)

【国際特許分類】

C 07 D 223/16 (2006.01)

A 61 K 31/55 (2006.01)

A 61 P 1/08 (2006.01)

A 61 P 3/04 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 25/14 (2006.01)

A 61 P 25/16 (2006.01)

A 61 P 25/20 (2006.01)

A 61 P 25/24 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 25/30 (2006.01)

【F I】

C 07 D 223/16 C S P Z

A 61 K 31/55

A 61 P 1/08

A 61 P 3/04

A 61 P 25/00

A 61 P 25/14

A 61 P 25/16

A 61 P 25/20

A 61 P 25/24

A 61 P 25/28

A 61 P 25/30

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 24 日 (2006.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

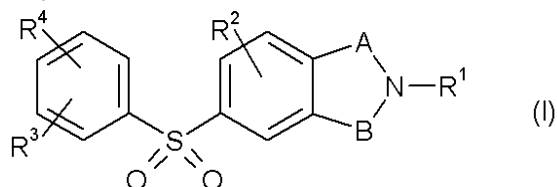
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) :

【化 1】



[式中、

A および B は、それぞれ、基 $-(CH_2)_m-$ および $-(CH_2)_n-$ を表し；

R^1 は、水素または C_{1-6} アルキルを表し；

R^2 は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシ C_{1-6} アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、 C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 C_{1-6} フルオロアルコキシ、 $-(CH_2)_p C_{3-6}$ シクロアルキル、 $-(CH_2)_p O C_{3-6}$ シクロアルキル、 $-CO C_{1-6}$ アルキル、 $-SO_2 C_{1-6}$ アルキル、 $-SO C_{1-6}$ アルキル、 $-S-C_{1-6}$ アルキル、 $-CO_2 C_{1-6}$ アルキル、 $-CO_2 NR^5 R^6$ 、 $-SO_2 NR^5 R^6$ 、 $-(CH_2)_p NR^5 R^6$ 、 $-(CH_2)_p NR^5 COR^6$ 、置換されていてもよいアリール環、置換されていてもよいヘテロアリール環または置換されていてもよいヘテロサイクリル環を表し；

R^3 は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシ C_{1-6} アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、 C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 C_{1-6} フルオロアルコキシ、 $-(CH_2)_p C_{3-6}$ シクロアルキル、 $-(CH_2)_p O C_{3-6}$ シクロアルキル、 $-CO C_{1-6}$ アルキル、 $-SO_2 C_{1-6}$ アルキル、 $-SO C_{1-6}$ アルキル、 $-S-C_{1-6}$ アルキル、 $-CO_2 C_{1-6}$ アルキル、 $-CO_2 NR^7 R^8$ 、 $-SO_2 NR^7 R^8$ 、 $-(CH_2)_p NR^7 R^8$ または $-(CH_2)_p NR^7 COR^8$ を表し；

R^4 は、水素、ヒドロキシ、 C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 C_{1-6} フルオロアルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、ハロゲン、 $-OSO_2 CF_3$ 、 $-(CH_2)_p C_{3-6}$ シクロアルキル、 $-(CH_2)_q O C_{1-6}$ アルキルまたは $-(CH_2)_p O C_{3-6}$ シクロアルキルを表し；

R^5 および R^6 は、各々独立して、水素、 C_{1-6} アルキルを表すか、または、それらが結合している窒素または他の原子と一緒に、アザシクロアルキル環またはオキソ置換アザシクロアルキル環を形成し；

R^7 および R^8 は、各々独立して、水素または C_{1-6} アルキルを表し；

m および n は、独立して、1 および 2 から選択される整数を表し；

p は、独立して、0、1、2 および 3 から選択される整数を表し；

q は、独立して、1、2 および 3 から選択される整数を表す]

で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物（ただし、化合物 8 - ヒドロキシ - 3 - メチル - 7 - フェニルスルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1 H - 3 - ベンゾアゼピン、8 - ヒドロキシ - 7 - (4 - ヒドロキシフェニル)スルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1 H - 3 - ベンゾアゼピン、7 - フェニルスルホニル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリンおよび 7 - フェニルスルホニル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリン・塩酸塩を除く）。

【請求項 2】

7 - (4 - n - ブチルフェニルスルホニル) - 1, 2, 3, 5 - テトラヒドロ - 3 - ベンゾアゼピン；または

7 - (4 - n - ブチルフェニルスルホニル) - 3 - メチル - 1, 2, 3, 5 - テトラヒドロ - 3 - ベンゾアゼピン

またはその医薬上許容される溶媒和物である、請求項 1 記載の式 (I) で示される化合物。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載の式 (I) で示される化合物またはその医薬上許容される塩および医薬上許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 4】

治療において使用するための、請求項 1 または請求項 2 記載の式 (I) で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物。

【請求項 5】

ドーパミン受容体の調節を必要とする症状の治療において使用するための、請求項 1 または請求項 2 記載の式 (I) で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物。

【請求項 6】

精神病性障害、パーキンソン病、薬物乱用、ジスキネジア性障害、鬱病、双極性障害、不安および認知障害の治療において使用するための、請求項 1 または請求項 2 記載の式 (I) で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物。

【請求項 7】

ドーパミン受容体の調節を必要とする症状の治療のための薬物の製造における請求項 1 または請求項 2 記載の式 (I) で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物の使用。

【請求項 8】

精神病性障害、パーキンソン病、薬物乱用、ジスキネジア性障害、鬱病、双極性障害、不安および認知障害の治療のための薬物の製造における請求項 1 または請求項 2 記載の式 (I) で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

EP285287 には、胃腸運動障害の治療に使用するための 3 - ベンゾアゼピン化合物が記載されており、これらの化合物には、化合物 8 - ヒドロキシ - 3 - メチル - 7 - フェニルスルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1H - 3 - ベンゾアゼピンおよび 8 - ヒドロキシ - 7 - (4 - ヒドロキシフェニル)スルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1H - 3 - ベンゾアゼピンが包含されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

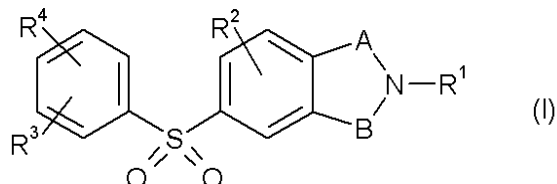
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によると、式 (I) :

【化 1】



[式中、

A および B は、それぞれ、基 - (CH₂)_m - および - (CH₂)_n - を表し；

R¹ は、水素または C₁₋₆ アルキルを表し；

R² は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシ C₁₋₆ アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、C₁₋₆ アルキル、C₁₋₆ アルコキシ、C₁₋₆ フルオロアルコキシ、- (CH₂)_p C₃₋₆ シクロアルキル、- (CH₂)_p O C₃₋₆ シクロアルキル、- C O C₁₋₆ アルキル、- S O₂ C₁₋₆ アルキル、- S O C₁₋₆ アルキル、- S - C₁₋₆ アルキル、- C O₂ C₁₋₆ アルキル、- C O₂ N R⁵ R⁶、- S O₂ N R⁵ R⁶、- (CH₂)_p N R⁵ R⁶、- (CH₂)_p N R⁵ C O R⁶、置換されていてもよいアリール環、置換されていてもよいヘテロアリール環または置換されていてもよいヘテロサイクリル環を表し；

R³ は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシ C₁₋₆ アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、C₁₋₆ アルキル、C₁₋₆ アルコキシ、C₁₋₆ フルオロアルコキシ、- (CH₂)_p C₃₋₆ シクロアルキル、- (CH₂)_p O C₃₋₆ シクロアルキル

、 $-COC_{1-6}$ アルキル、 $-SO_2C_{1-6}$ アルキル、 $-SOC_{1-6}$ アルキル、 $-S-C_{1-6}$ アルキル、 $-CO_2C_{1-6}$ アルキル、 $-CO_2NR^7R^8$ 、 $-SO_2NR^7R^8$ 、 $-(CH_2)_pNR^7R^8$ または $-(CH_2)_pNR^7COR^8$ を表し；

R^4 は、水素、ヒドロキシ、 C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 C_{1-6} フルオロアルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、ハロゲン、 $-OSO_2CF_3$ 、 $-(CH_2)_pC_{3-6}$ シクロアルキル、 $-(CH_2)_qOC_{1-6}$ アルキルまたは $-(CH_2)_pOC_{3-6}$ シクロアルキルを表し；

R^5 および R^6 は、各々独立して、水素、 C_{1-6} アルキルを表すか、または、それらが結合している窒素または他の原子と一緒にあって、アザシクロアルキル環またはオキソ置換アザシクロアルキル環を形成し；

R^7 および R^8 は、各々独立して、水素または C_{1-6} アルキルを表し；

m および n は、独立して、1および2から選択される整数を表し；

p は、独立して、0、1、2および3から選択される整数を表し；

q は、独立して、1、2および3から選択される整数を表す]

で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物（ただし、化合物 8 - ヒドロキシ - 3 - メチル - 7 - フェニルスルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1 H - 3 - ベンゾアゼピン、8 - ヒドロキシ - 7 - (4 - ヒドロキシフェニル)スルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1 H - 3 - ベンゾアゼピン、7 - フェニルスルホニル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリンおよび 7 - フェニルスルホニル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリン・塩酸塩を除く）が提供される。